

令和7年度 第1回 東海村歴史と未来の交流館運営協議会 会議録

1	開催日時	令和7年10月2日(木) 18時から19時30分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者	歴史と未来の交流館運営協議会委員7名(欠席3名) 教育委員会6名
4	公開又は 非公開の別	公開
5	非公開の理由	—
6	協議・説明事項	(1) 令和7年度の上期事業報告 (2) 令和7年度の下期事業計画(案) (3) 特別企画展について
7	配布資料	・【資料①】令和7年度事業報告 ・【資料②】東海村発足70周年特別企画展「時間旅行(タイムトラベル)へようこそ!—東海村から届いた招待状—」 ・【資料③】東海村歴史と未来の交流館年報
9	内容	(1) 令和7年度の上期事業報告 ○資料①により説明 委員) 事業への参加は、どの年齢層が多いのか。 事務局) 年齢別では集計していないが、事業によっては未就学児でも親子で参加できるものを企画している。 委員) 未就学児から小学3年生くらいまでは、保護者も一緒に参加できる事業の方が参加率が高いと実感している。 委員) 夏休みの事業はすぐに定員に達してしまい、抽選でも漏れてしまう子が多い。人気のある事業で対象人数を増やす予定はあるか。 事務局) 好評だった事業については、再度企画して前回漏れてしまった方が参加できるようにする等、より多くの方が参加できるような仕組みを検討している。 (2) 令和7年度の下期事業計画(案) ○資料①により説明 委員) 「いつ」「開催実績」「対象者」等があると分かりやすい。

	事務局) 博物館・文化財担当の【教育普及】事業については、全年齢層が対象となっている。「まるはく研究員養成講座」については、平日の日中開催のため時間に余裕のある方が多い。 委 員) 対象は村内の方のみか。 事務局) 村内外を対象としている。広報，HP，LINE等でお知らせしている。J-PARCと一緒に実施する事業については、先方から対象年齢を指定される場合もある。 委 員) 「まるはく研究員養成講座」に参加された方について、講座を修了した方のその後の活動等が見えると良い。 事務局) 修了した後の活動については、一定数の方が古文書の調査会や博物館長講座において館長のフォローを行っている。 委 員) 下期の事業も盛りだくさんで、これから募集が始まる事業もある。皆さんにも協力していただきたい。 (3) 特別企画展について ○資料②により説明を行い、企画展を観覧 委 員) 時空マップの設定は何年頃か。 事務局) 特に設定はない。様々な年代のものを用意してある。道路の映像や未来の絵，立った場所によって昔の場所もある。 事務局) 子どもたちが走ったり展示に触れてしまったりするため，ケースなしで本物を見てもらいたい一方で，展示をしながら注意書きを足している状態である。展示室をどのようにしていくのか考えていかなければならない。 委 員) 興味がなければ交流館には来ない。学校で利用することによって，ルールをその場で教えることができ，マナーを身につける機会になる。 事務局) 依頼があれば出前講座等対応することができる。興味のある子を増やしていきたい。 委 員) 展示室は無人なのか。埴輪が危険だと思う。 事務局) 夏休み等は来館者数が多い時には有人にして対応した。 委 員) 実際に壊してしまった事例はあるか。 事務局) 埴輪自体は傷ついてはいないが，以前展示物を破損してしまった事例はある。触れられるものだと，子どもたちは楽しくなってしまう，壊すというよりは元の場所に戻さないことが多い。
--	---

	委員) あまり規制をすると来館者も楽しめなくなってしまう。 危ない時に措置を取れば良い。入口に大きく注意書きがあると良い。 委員) まずマナーを教えないと「できない子」になってしまう。 子どもたちに展示物の見方を教える必要がある。 事務局) 小学生が来た際には、マナーについて説明してから次の説明に進むようにしている。夏休みは学校だけではなく、学童の子どもたちも来館する。マナーと展示物の見方を指導員にレクチャーし、指導員から子どもたちに指導してもらうようにしている。 委員) 全方向で埴輪を見ることができる環境はとても貴重なことだと思う
10 今後の予定	令和7年度第2回は2月下旬に開催予定 協議内容は令和7年度の事業報告を予定